島根県立三瓶自然館研究報告　Bulletin of the Shimane Nature Museum of Mt. Sanbe (Sahimel). No. 21, 35-37, March 2023

島根大学三瓶演習林のヒメドロムシ類

外　山　祐　紀*

Record of riffle beetles (Coleoptera: *Elmidae*) in Sanbe Forest, Shimane University

Yuki Sotoyama*

1. はじめに

ヒメドロムシとは，主に渓流や河川などの流水域に生息している，体長1~4mm程度の水生昆虫である．島根県では，県東部を中心に調査が行われており，研究報告がなされている（林，2020）．しかし三瓶山周辺での調査報告は少なく，大学演習林内における分布状況は明らかになっていない．そこで著者は，島根大学三瓶演習林獅子谷団地において，ヒメドロムシ類の分布調査を実施した．その結果を本稿にて報告する．

2. 方　　法

野外調査は2021年6月から12月にかけて，島根大学三瓶演習林獅子谷団地で実施した．

演習林内に整備された林道周辺の沢を調査地点とした．採集には網目1mmの熱帯魚用の水網を用いて，各地点で15分程度の調査を期間内に数回行った．河床の礫を攪拌することによって流下する個体や，流木の表面にいる個体を採集した．採集した個体は，中島ほか（2020）により同定した．調査で得られた個体は三瓶演習林事務所にて保管されている．各地点の緯度経度，標高については，スーパー地形（Kashimir3D, 2021）により調査後に記録した．

3. 結　　果

本調査では，5属8種のヒメドロムシが記録された．以下に各種の採取データ（地点，日付，採集個体数）を記述する．また，調査地の基本データ（図1，表1）と環境写真（図2），採集されたヒメドロムシ類の標本写真（図3）を示す．

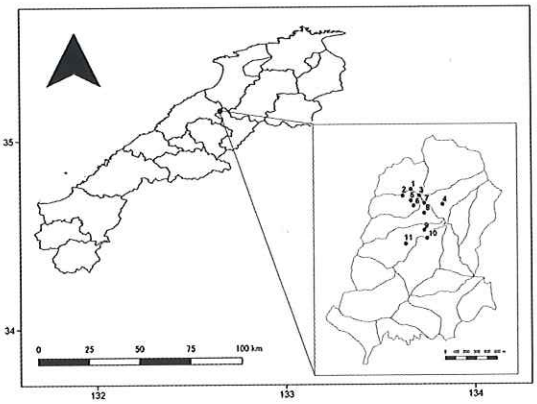

図1　調査地点．

表1　調査地点の基本データ．

No.	調査地点名	緯度経度	標高 (m)	周辺環境
1	島根県飯石郡飯南町角井	35.1594959, 132.6566605	380.9	落葉広葉樹二次林
2	同上	35.1589098, 132.6558272	400.5	同上
3	同上	35.1589431, 132.6574938	382.2	同上
4	同上	35.1581598, 132.6599938	388.9	同上
5	同上	35.1584987, 132.6566605	390.0	同上
6	同上	35.1580626, 132.6569383	399.0	同上
7	同上	35.1582793, 132.6580494	368.5	同上
8	同上	35.1559348, 132.6580494	382.0	同上
9	同上	35.1559348, 132.6580494	385.0	スギ人工林
10	同上	35.1552237, 132.6583272	374.0	同上
11	同上	35.1547570, 132.6561050	416.3	同上

*　島根大学生物資源科学部，〒690-8504 島根県松江市西川津町 1060
Faculty of Life and Environmental Science, Shimane University, 1060 Nishikawatsu-cho, Matsue, Shimane 690-8504 Japan
現所属：北海道森林管理局空知森林管理署北空知支署，〒074-0414 北海道雨竜郡幌加内町清月
Hokkaido Regional Forest Office, Sorachi District Forest Office, Kitasorachi Branch Office. Seigetsu, Horokanai-cho, Uryû-gun, Hokkaido 074-0414, Japan

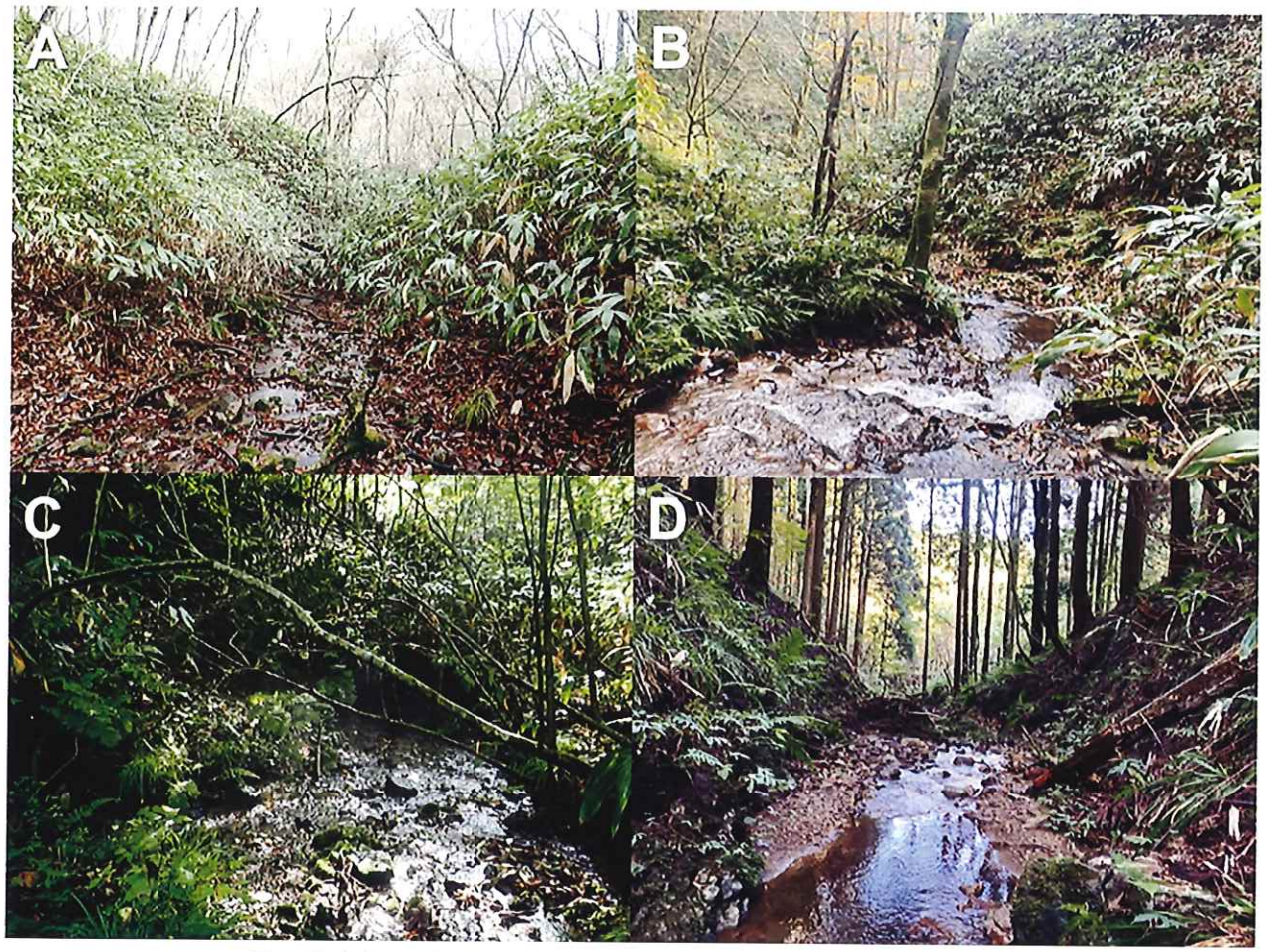

図2　調査地の環境．A, 地点No.2；B, 地点No.7；C, 地点No.1；D, 地点No.10.

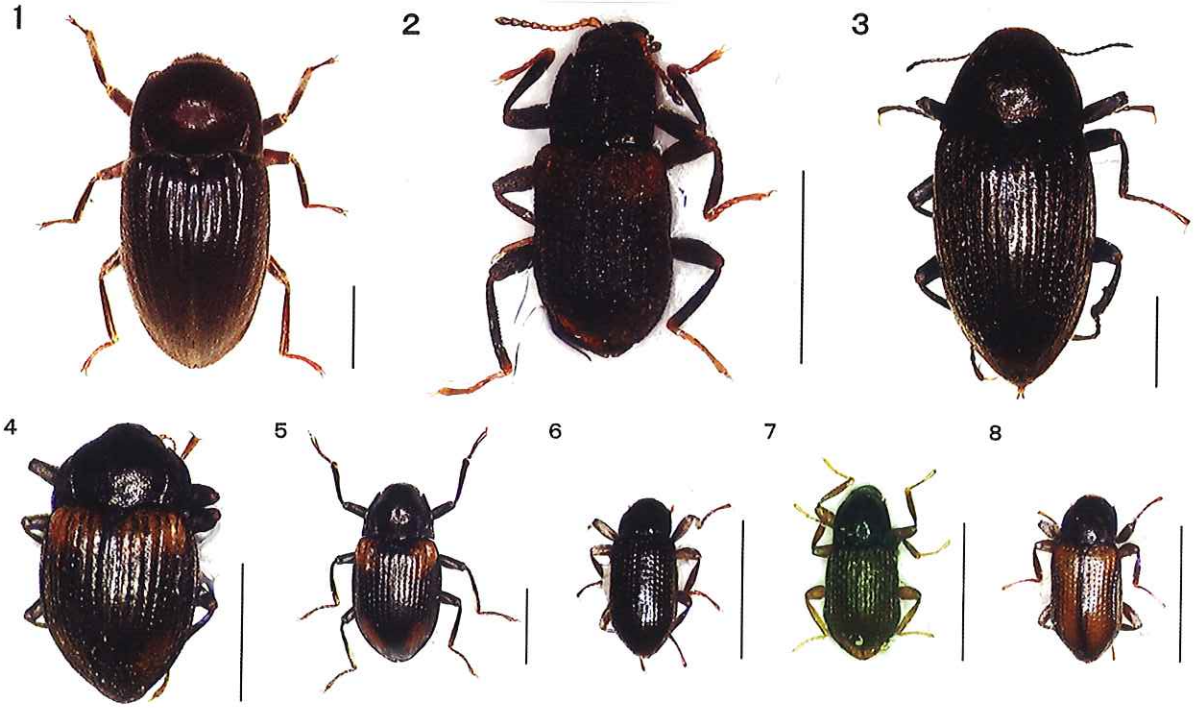

図3　採集されたヒメドロムシの標本写真．1, ハバビロドロムシ；2, アカモンミゾドロムシ；3, クロサワドロムシ；4, ハガマルヒメドロムシ；5, コマルヒメドロムシ；6, ホソヒメツヤドロムシ；7, マルヒメツヤドロムシ；8, ヒメツヤドロムシ．スケールは1mm.

ヒメドロムシ科　*Elmidae*

1.　ハバビロドロムシ

Dryopomorphus extraneus Hinton, 1936

No. 3 , 14. Ⅹ. 2021, 2exs.
No. 4 , 7 . Ⅷ. 2021, 2exs.
No. 9 , 29. Ⅸ. 2021, 1ex.
No.10, 26. Ⅹ. 2021, 1ex.

2.　アカモンミゾドロムシ

Ordobrevia maculate (Nomura, 1957)

No. 3 , 27. Ⅷ. 2021, 2exs.
No.10, 26. Ⅹ. 2021, 9exs.
22. Ⅻ. 2021, 2exs.

3.　クロサワドロムシ

Neoriohelmis kurosawai Nomura, 1958

No. 3 , 11. Ⅵ. 2021, 1ex.

4.　ハガマルヒメドロムシ

Heterlimnius hagai (Nomura, 1958)

No. 2 , 8 . Ⅻ. 2021, 1ex.

5.　コマルヒメドロムシ

Heterlimnius yoshitomii (Kamite, 2015)

No. 1 , 7 . Ⅷ. 2021, 2exs.
15. Ⅸ. 2021, 6exs.
8 . Ⅻ. 2021, 1ex.
No. 3 , 11. Ⅵ. 2021, 2exs.
7 . Ⅷ. 2021, 3exs.
27. Ⅷ. 2021, 3exs.
No. 7 , 17. Ⅺ. 2021, 2exs.
No.10, 26. Ⅹ. 2021, 2exs.
22. Ⅻ. 2021, 1ex.

6.　ホソヒメツヤドロムシ

Zaitzeviaria gotoi (Nomura, 1959)

No. 1 , 27. Ⅷ. 2021, 1ex.
15. Ⅸ. 2021, 1ex.

7.　マルヒメツヤドロムシ

Zaitzeviaria ovata (Nomura, 1959)

No. 1 , 7 . Ⅷ. 2021, 1ex.
27. Ⅷ. 2021, 2exs.
15. Ⅸ. 2021, 2exs.
8 . Ⅻ. 2021, 2exs.
No. 2 , 22. Ⅻ. 2021, 1ex.
No. 3 , 11. Ⅵ. 2021, 3exs.
No. 5 , 22. Ⅻ. 2021, 2exs.
No. 7 , 17. Ⅺ. 2021, 5exs.
No. 8 , 22. Ⅻ. 2021, 2exs.
No.10, 26. Ⅹ. 2021, 6exs.
22. Ⅻ. 2021, 3exs.

8.　ヒメツヤドロムシ

Zaitzeviaria brevis (Nomura, 1958)

No. 4 , 7 . Ⅷ. 2021, 1ex.

4. 考　　察

本調査では11地点中9地点でヒメドロムシ類の生息が確認された．三瓶演習林では，マルヒメツヤドロムシとコマルヒメドロムシが優占していることが明らかとなった．

今回は林道からアクセスしやすい沢のみを対象としたため，調査の手が入っていない沢が多く残されている．今後の調査で，さらに詳細なヒメドロムシ類の分布が解明されることを期待する．

謝　　辞

野外調査にご協力いただいた島根大学演習林技術専門職員の尾﨑嘉信氏，標本写真の撮影を手掛けていただいた島根大学大学院自然科学研究科の森本涼介氏に厚く御礼申し上げる．

文　　献

Kashimir3D (2021) スーパー地形. https://www.kashimir3d.com/ (令和3年5月1日ダウンロード).

中島 淳・林 成多・石田和男・北野 忠・吉富 博之 (2020) ヒメドロムシ科.「ネイチャーガイド日本の水生昆虫」: 180-208pp. 文一総合出版, 東京.

林　成多 (2020) 改訂 島根県の水生昆虫 (2) ホシザキグリーン財団研究報告特別号, (28) : 38-55

(外山祐紀：北海道雨竜郡幌加内町字清月)